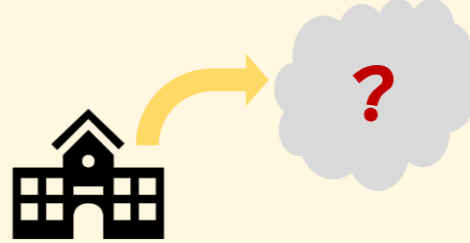


西信達小学校跡地の有効活用のアイデア

新しい義務教育学校は、現在の西信達中学校の敷地に建設する予定です。そこで、西信達地区をより良くするための西信達小学校跡地の活用アイデアについて地域の皆様にご意見をお伺いしました。

西信達地区の皆様にとって身近で、南海本線岡田浦駅に近い場所ということもあり、たくさんのアイデアをいただくことができました。



駅前の利便性を向上させるアイデア

- ・駅や近隣の認定こども園への送迎を考慮したロータリーの整備
- ・駅前の道路を広げ、一方通行を解消
- ・和歌山方面のホームに改札を設置

駅周辺のにぎわいを創出するアイデア

- ・スーパーやコンビニといった日用品や食品などの買い物ができる商業施設
- ・お年寄りも買い物がしやすい移動販売車の停留場
- ・パン屋、カフェなどの飲食店
- ・テナントが入ることができるスペース

地域交流を促す視点のアイデア

- ・子育て支援センター
- ・子どもから大人までスポーツを楽しむことができる施設
- ・小さい子どもたち（未就学児）が遊ぶことができる公園
- ・地域の人が集えるコミュニティースペースや防災機能を有する施設

ワークショップの感想をご紹介します！！



グループワークでは様々な意見が出ました。この意見を下地に地元住民の納得がいく学校になって欲しいと願っています。すべての意見を反映することは難しいかもしれませんが、出来る限り盛り込んで頂けたらと思っています。



様々な世代や立場の皆さんと話し合いをしながら、新しい学校について考えられた貴重な機会でした。地域住民が納得し、そして子どもたちの気持ちが一番尊重された学校が生まれるといいなと思いました。



発行・編集：泉南市教育委員会事務局 教育部 〒590-0505 泉南市信達大苗代 374 番地の4
TEL：072-483-2581（教育総務課直通） FAX：072-483-7306
e-mail：k-soumu@city.sennan.lg.jp 市ウェブサイト：https://www.city.sennan.lg.jp

泉南市教育委員会ポータルサイトは、泉南市 HP のバナーかこちらの QR コードで→



西信達地区
ワークショップ
瓦版 vol.3

第3回テーマ

『地域と学校について』



西信達義務教育学校の新設に当たり、新しい義務教育学校のめざす姿を地域全体で考えるため、第3回「西信達地区ワークショップ」を実施しました。

第3回では、「地域と学校について」というテーマで意見交換を行い、地域の皆様の新しい義務教育学校へのご意見や思いをたくさんお聞きすることができました。

日時：2023年9月21日(木)18:30～20:30

会場：西信達公民館 多目的ホール

参加者：計15名

西信達地区住民：13名

西信達小中学校教員：2名

第1回
『現在の学校について』

第2回
『めざす義務教育学校について』

第3回
『地域と学校について』

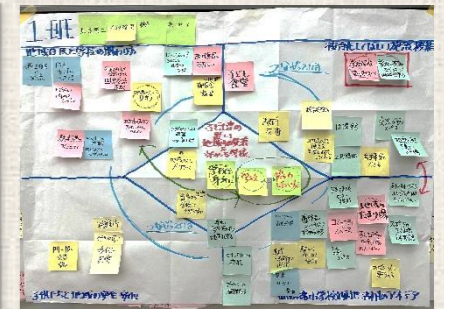
グループワークで意見交換

第3回ワークショップでは、次の3つのトピックを中心に意見交換しました。

- ①地域住民と新しい義務教育学校の関わりについて
- ②新しい学校に複合化してほしい施設・機能について
- ③西信達小学校の跡地の有効活用のアイデアについて

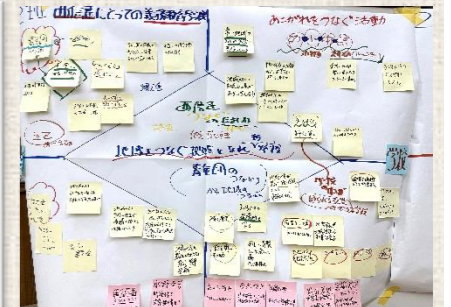
1班

学校と地域の思いをうまく引き合わせて、地域住民が学校をより身近に感じられるように、現在 PTA や民生委員が担っている役割を地域全体の関わりに広げていきたいといった意見がでました。



2班

地域住民が自分の経験を子どもたちに伝えたり、逆に子どもたちがスマートフォンの使い方を地域住民に教えたりするなど、お互いが成長できるような関わりを持ちたいといった意見がでました。



3班

「密なつながり」や「ゆるいつながり」など、地域住民の様々なつながり方を尊重して、多様なつながり方ができる「学校と地域の関係性」をつくっていききたいといった意見がでました。



新しい義務教育学校と 地域連携のこと

「西信達地区らしい地域と学校の関わり方ってどんなだろう？」
「学校が地域住民にとって気軽に立ち寄れる場所になるためには
どんな施設や機能があったら良いだろう？」そんな問いかけに対
して、地域の皆様が様々なご意見や思いをお話ししてくれました。



地域の人と学校が交流していく中
で、新しい義務教育学校が地域に
とって、身近に感じられる場所にな
ったらいいなあ。

地域住民と新しい義務教育学校の関わり方について

学校活動の支援・サポート

- ・学校授業の学習支援や部活動の補助（ボランティア）を行う。
- ・地域の歴史・文化・暮らし・昔遊び等を子どもたちに教える。
- ・居住年数が長い住民と短い住民の交流が必要だ
と思うので、地域一体の取組ができるようにサ
ポートする。



子どもたちと地域の対話

- ・地域の人が子どもの視野を広げる情報を提供
し、気がかりなことや悩みを気軽に相談できる
ようにする。
 - ・様々な世代が交流できるようにする。
- 例えば
- 子ども×高校生&大学生
→進路・進学・受験相談にのる。
 - 子ども×社会人
→仕事内容や人生経験を子どもに伝える。
→西信達の文化・伝統を子どもに伝える。



現在の取組の継続と展開

- ・青少年指導員、民生委員が中心となっている通
学路での挨拶運動や通学の見守りを地域全体の
活動へ広げていきたい。
- ・認定こども園の園児たちと交流する。
→学校で地域住民が離乳食講習をするなど学校を
地域の子育て拠点に。
- ・地域住民が調理実習等の特別授業のお手伝いや
子ども食堂のような取組ができないか。
- ・西信達地区地域教育協議会フェスタのつながり
を継続し、広げていく。

西信達地区らしい関わり方

- ・地域住民が西信達地区の伝統産業を伝える。
- ・西信達地区のお祭りや学校との関わりを深め、
地域全体で活動する。
- ・お祭りで演奏する太鼓や笛などを教える。



新しい学校に複合化してほしい施設・機能について

学校施設の地域開放

- ・ランチルーム、体育館、運動場等の学校の施設
を地域の人でも利用できることよい。
- ・図書室を充実させ、地域の人でも使えて司書が地
域住民にも対応してくれることよい。
- ・地域の人でも利用できる自習スペースがあるとよ
い。



地域住民が使える交流拠点

- ・地域の人が集まって話し合えるスペースがある
ことよい。
- ・子育て相談等ができるような場所があるとよい。
- ・地域住民が集まれる、立ち寄りやすい雰囲気を持
つ外構（庭）があるとよい。
- ・子どもたちの学校活動の様子や制作展示が見ら
れるような場所があるとよい。

地域の避難所としての機能

- ・避難場所としての機能を充実してほしい。
- 例えば
- 体育館（避難スペース）のエアコン完備
 - 非常用発電
 - 防災時にも使えるトイレ
 - 備蓄倉庫
 - 浸水対策として、1階より高い場所への避難
場所確保
- ・避難時に個々のプライバシーが確保できる配慮
があるとよい。



学校と他機能の複合化

- ・地域のイベントなどもできる小さなホールがあ
るとよい。
- ・交番があれば安心できる。
- ・カフェ、軽食販売、駄菓子屋などの軽い飲食が
とれるスペースがあるとよい。

